

1 2	受験番号シール貼付欄

第 5 問 答案用紙<1> (会 計 学)

問題 1

問 1	のれんを償却する方法は、企業結合の成果たる収益と、その対価の一部を構成する投資消去差額の償却という費用の対応が可能となるため。
問 2	数理計算上の差異には、予測と実績の乖離のみならず、予測数値の修正も反映されることから各期に生じる差異を直ちに費用として計上することが退職給付に係る債務の状態を忠実に表現するとはいえない面があるため。
問 3	ノンリサイクリング項目が生じると純損益に反映されないキャッシュ・フローが存在することとなり、純損益の性格が変質するとともに、純損益の総合的な業績指標としての有用性が低下するため。
問 4	研究開発費は、発生時には将来の収益を獲得できるか否か不明であり、また研究開発計画が進行し、将来の収益の獲得期待が高まったとしても、依然としてその獲得が確実であるとはいえないため。
問 5	連結財務諸表が企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適切に表示しなくなるおそれがある。
問 6	日本の会計基準に見られる特徴は、収益から費用を差し引いた利益を重視し、その利益により純資産が増加するという収益費用アプローチにある。
問 7	のれんの未償却額を減額しない場合には、一部売却した親会社持分相当額に対応するのれんの償却費が次期以降にも認識され、「親会社株主に帰属する当期純利益」が適切ではなくなる。

2 — 2	受験番号シール貼付欄

第 5 問 答案用紙<2> (会 計 学)

問題 2

(単位：千豪ドル)

	年度	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	過年度分	利 益 剰 余 金	200	の れ ん	200
	当年度分	の れ ん 償 却	100	の れ ん	100
(2)	過年度分	退職給付に係る調整累計額 (その他の包括利益累計額)	45	利 益 剰 余 金	45
	当年度分	退 職 給 付 費 用 (数理計算上の差異償却)	5	退職給付に係る調整額 (その他の包括利益)	5
(3)	過年度分	利 益 剰 余 金	300	開 発 費 (無 形 資 産)	300
	当年度分	開 発 費 (無 形 資 産)	100	開 発 費 償 却	100
(4)	過年度分	利 益 剰 余 金	40	建 物 減 価 償 却 累 計 額	40
		建 物	100	利 益 剰 余 金	100
	当年度分	建 物 減 価 償 却 費	20	建 物 減 価 償 却 累 計 額	20
		建 物 減 価 償 却 累 計 額	60	建 物	100
(5)	過年度分	機 械	20	機 械 減 価 償 却 費 累 計 額	100
		固定資産再評価剰余金 (その他の包括利益累計額)	80		
	当年度分	機 械 減 価 償 却 費 累 計 額	10	機 械 減 価 償 却 費	10
		利 益 剰 余 金	10	固 定 資 産 再 評 価 剰 余 金 (その他の包括利益累計額)	10

問題 3

(単位：千円)

(1)	244, 830	(2)	392, 840
-----	----------	-----	----------

問題 4

(単位：千円)

(1)	367, 392	(2)	3, 686, 000	(3)	561, 816	(4)	577, 231
(5)	923, 227	(6)	164, 622	(7)	636, 815		

評 点